

【背景】

高度成長期に大量に建造されたコンクリート構造物は耐用年数切れが近づいています。財政的問題、環境保全の考えから、それらの構造物の延命化が検討されており、メンテナンス市場にビジネスチャンスが生まれています。そこで、当センターでは、“技術・装置開発を通じた県内企業のメンテナンス市場への参入支援”を目的とした、産学官連携の「茨城県メンテナンスビジネス研究会」を設立し、メンテナンス技術開発の検討を行なっています。

【経緯と内容】

研究会の概要

支援内容

- ・勉強会の開催
- ・技術開発支援

対象分野

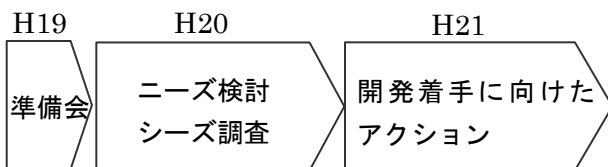
- ・コンクリート構造物
- ・上下水道施設

参加機関

産：機械製造業，建設業，検査業，技術士事務所 など
 学：茨城大学，筑波大学，千葉工業大学，
 （独）土木研究所，（独）建築研究所 など
 官：茨城県（商工労働部，土木部，企業局，工業技術センター）
 （財）茨城県中小企業振興公社，（財）茨城県道路公社 など

経緯

H19 年度の準備会から始まり，H20 年度に正式発足，本年度は開発着手に向けたアクションを行いました。



本年度内容

特に“診断補助器具”等の開発に着目した勉強会・検討を実施しました。

勉強会の開催

〔ビジネスチャンス模索
情報提供・検討の場〕

調査

〔文献調査
専門家等ヒアリング〕

調査結果を反映

技術開発支援

〔コーディネート
競争的資金申請支援
技術支援〕

【結果と今後の展開】

勉強会を開催（計3回）

＜内容＞

- ・技術紹介
- ・ニーズ検討
- ・競争的資金紹介
- ・講演会
（建築物，橋梁，材料）
- ・橋梁の構造・劣化しやすい箇所を見る現場研修会



研究会風景



現場研修対象（千歳橋）

技術開発支援

企業からの研究開発案・事業案に対し，大学・関係機関等との連携体制構築を行なうとともに，JST や国交省の競争的資金への申請支援（計2件）を行ないました。

今後の展開

本年度研究会の結果，複数の企業から開発案が寄せられており，来年度以降，競争的資金獲得等により開発を進める予定です。

基礎となった事業

平成 20～21 年度 県北臨海地域産業活性化推進事業

担当部門

先端技術部門

部 門 長

浅野 俊之

tel:029-293-7495

主任研究員

飯村 修志

技 師

石渡 恭之